

「埼玉WABI SABI 大祭典 2021」
新型コロナウイルス感染防止対策
ガイドライン

第1版

2021年11月2日

埼玉WABI SABI大祭典2021 運営事務局

はじめに

「埼玉 WABI SABI 大祭典2021」に携わる全ての方々の安全を確保するため、「新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン」を定め、徹底した対策を講じます。このガイドラインは、政府や埼玉県の方針などにより随時改定します。

【特記事項】

本資料は作成日時点における政府や自治体等が公表している各種対策を参考にしています。

※参照元

【内閣官房】

<https://corona.go.jp/prevention/pdf/guideline.pdf>

【国土交通省(公益社団法人日本青年会議所)】

<https://www.jaycee.or.jp/2021/honkai/wp/wp-content/uploads/2020/12/577f595905b034aa8bfe6d84793cb2c3-4.pdf>

【埼玉県】

https://www.pref.saitama.lg.jp/a0301/covid19_sougousite.html

【さいたま市】

<https://www.city.saitama.jp/002/002/011/001/p074385.html>

目次

Chapter1. 感染予防対策基本事項

- 感染予防対策基本事項
- 関係者(スタッフ、出演者、出展者)の感染防止対策

Chapter2. 各エリアの対策

- ステージ控室エリア
- 出展エリア
- ワークショップエリア
- その他場内エリア
- 場外エリア

■ 感染予防対策基本事項

- | 会場全体の密を防止するため、イベント会場に入退場口を設置し会場内の人数管理を徹底します。
- | 店舗(テント)の間隔を概ね5m確保し設置します。
- | 飛沫感染リスク/接触感染リスクを伴う行為を禁止し、注意喚起を行います。
- | 接客を伴う総合案内などには、アクリルパネル(またはビニールシート)等を設置し飛沫防止策を行います。
- | 識別章(出展者パス等)に上限数を設定し、配布数を制限することで人数の増加を防ぎ、人数を管理します。
- | 来場者は入退場口で検温をしたうえで入場し、入場口での混雑が起きないように適宜待機列の間隔整理を実施します。
- | すべてのブース/関係者が頻繁に使用する箇所には、手指消毒アルコールを設置します。
- | 公式HPやSNSを活用し、感染症対策や会場の混雑状況などを随時発信します。
- | 11月1日(月)及び11月10日(水)までに、さいたま市及び埼玉県を含む周辺自治体における、感染状況を把握した上でイベントの開催方法を協議・検討し、関係者に周知します。

関係者(スタッフ、出演者、出展者)の感染防止対策

- | 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)、埼玉県のLINEコロナお知らせシステムの事前登録を行います。

新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

埼玉県LINEコロナお知らせシステム

<https://page.line.me/281iwfwu?openQrModal=true>

- | 全ての関係者に検温と体調チェックを行います。
- | 発熱や体調不良が確認された関係者は、業務には就きません。
- | マスクまたはフェイスシールドを常時着用(出演者は本番時を除く)し業務に就きます。
- | 来場時や滞在時など、こまめな手洗い手指の消毒を行います。
- | 関係者専用エリアにおいても人と人の間隔を十分に確保します。
- | その他体調不良者が出た場合、ただちに保健所など保険行政機関や近隣の医療機関と連携し、関係者の健康と安全を確保する策を速やかに講じます。
- | 関係者においても、飲食時のマナーを徹底し、会話は控えマスク飲食を行います。

■ ステージ／控室エリア

- ｜ ステージから客席部最短までの距離を概ね5m確保します。
- ｜ 客席部に仮設フェンス等を設置し、客席が密にならないように入場制限を行います。
- ｜ 入退場口を指定しスタッフによる入退場誘導を行うことで来場者管理を行います。
- ｜ 飛沫感染リスク/接触感染リスクを伴う行為を禁止し、注意喚起を行います。
- ｜ ステージの客席エリアには仮設フェンス等を設置し、エリア内の入場者数を制限します。
- ｜ ステージ出演者の人数に応じて、出演者のマスク着用を判断します。
- ｜ ステージに同時出演できる人数やソーシャルディスタンスを考慮したレイアウトとします。
- ｜ 出演者同士の間隔が十分に確保できない場合は、出演者の間にアクリルパネル(またはビニールシート等)の設置を実施します。
- ｜ マイクやマイクスタンド、ステージ上の椅子やテーブルなどは、使用者が変わるたびに消毒を行います。

■ 出展エリア

- | テントの間隔を概ね5m確保します。確保できない場合には、テントの横幕やビニールシートなど設置します。
- | 飛沫感染リスク/接触感染リスクを伴う行為を禁止し、注意喚起を行います。
- | 接客を伴うカウンターなどには、アクリルパネル等を設置し飛沫防止対策を行います。
- | テント内の常駐人数を5人までに制限します。
- | すべてのテント内に手指消毒アルコールを配布、設置します。
- | 現金決済では小銭トレイを使用し、可能であれば電子マネーなどの決済端末の活用を推奨します。

■ ワークショップ

- | 着席して行うワークショップでは、参加者が対面にならないレイアウトとし、人と人との距離を十分に確保します。
- | 十分な距離が取れない場合は、アクリルパネルを設置する等の対策を講じます。

■ その他エリア

- ｜ 飲食可能な休憩エリアは、前後左右最低1m以上確保し、対面を避けたレイアウトとします。
- ｜ 飲食エリアは消毒専門のスタッフが巡回し、定期的に消毒を行います。
- ｜ 飲食時に出たゴミは、大宮公園内に設置するゴミ箱に廃棄するよう注意喚起します。
- ｜ ゴミ回収時には、スタッフはマスク・ビニール手袋を着用し従事します。
- ｜ インフォメーションには、アクリルパネル(またはビニールシート)などを設置します。
- ｜ 出演者控室や運営本部テント内の座席は、前後左右最低1m以上確保し、机上にアクリルパネルを設置します。
- ｜ 四方幕で囲まれたテントでは、定期的な換気を行うためにサーキュレーターなどの機器を設置します。

■ 場外エリア

- ｜ 最寄り駅(大宮駅、北大宮駅、大宮公園)に配置する誘導スタッフは、マスクを着用し、手持ち看板により案内します。
- ｜ 臨時運行するシャトルバスの乗務員はマスク着用で乗務します。
バスの運行中は車内換気のため、換気扇を使用し、一部の窓を開けて運行します。
シャトルバスの車両は、光触媒スプレーによる抗菌・抗ウイルス加工を実施済みです。